

金型からの一貫生産、 プレス部品のスペシャリスト

納期 相談
企画力 自信有
コスト 相談
オンリーワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産 対応



平均年齢35歳の若さが武器

業務内容

40年超、大手自動車部品メーカーの有力下請け

自動車用コントロールケーブルの取付金具を主力とする。順送りプレスによる加工、後工程の組立工程ではプレス成型品に周辺部品を組み合わせ、部品モジュールとしてメーカーに納入する。40年超、関西に本社を置く大手自動車部品メーカーの有力協力会社として重要部品を担当してきた。電子帳票を用いた品質管理体制はもちろん、現場の5SやVA（価値分析）提案力などは長年、自動車業界の仕事で鍛えられた。その品質・納期・コスト提案力は納入先との信頼関係からも伺える。

強み

**金型の内製で試作から
量産まで社内ですべて完結可能**

「金型の設計・製造をすべて内製化していることが強みだ」と伊藤雄一社長は力を込める。プレス加工、金型製造など単工程を得意とする町工場は多いが、すべてを真の意味で内製しているのは全国でも数少ない。受注から量産までの時間が短縮できるため短納期化が図れるほか、コスト低減効果ももたらしている。企画段階の設計図面が、外部に出回らないというメリットも大きい。文字通り試作から量産まで一貫生産していることで、プレス工程の生産性向上や単工程化などを視野に入れた製品設計やVA提案が可能となっている。生産途中に発生した問題も即時に金型の修正に



最新鋭の順送りプレスを導入

フィードバックすることができ良品率の向上につながっている。

社員教育

**個々の仕事の幅を広げ、
チームワーク第一に**

自主的な勉強会が盛んに行われている。プレスの技術者が金型を学び、逆に金型技術者がプレスに興味を持つ。「スーパースターはいらない」伊藤社長は、特定の人間に依存しない会社にしていきたいとの方針。「一人ひとりが会社全体を考えてほしい」と、チームワークを大切にできる人材を育てていきたい考えだ。東大阪のものがづくり企業が共同で取り組む修学旅行生相手の「工場見学ツアー」にも参画する。外部の目を意識し、自分の職場に誇りをもってもらいたいとの意図だ。

今後の展望

**設備刷新で技術力高め、
非自動車向けも模索**

自動車部品の比率が高く、これまで営業専任者を置いていなかった。自動車向けは短期的に増加傾向にあるが、成長性には不安もちらつく。今後の成長を見据える伊藤社長は「ゆくゆくは異業種からも受注を狙いたい」と事業ポートフォリオの拡大に意欲を示す。平成25年には、80t級NC（数値制御）サーボプレスを買入れ、初めて購入した。複雑で繊細な挙動を実現できる同設備を活用すべく技術力の向上に取り組んでいる。平成26年には300t級サーボプレス機とともに三次元データに対応した解析ソフトも導入。金型の内製化に続く、第三の創業と位置付ける。伊藤社長は「これまでできなかった新しい提案をしていきたい」と将来を見据える。

COMPANY PROFILE

株式会社伊藤製作所

大阪26

ISO 9001

当社の歴史

昭和42年に絵筆のろう付けで創業しました。先代の急逝により引き継いだ私は4代目。主力の自動車部品は昭和47年に取引を始め、当時から順送りプレスに取り組みました。伯父（現・専務）が入社したのを機に金型の内製化も始め、これが当社の技術の源泉となっています。現在、経営は伯父の子供と私の若手世代が中心。次代のために積極投資に打って出るところです。

平均年齢35歳の若者が働きやすい工場

代表取締役社長 伊藤 雄一さん



■主な事業内容
自動車プレス部品の製造

■主な取引先（納入先）
自動車部品メーカー

住所／〒577-0004
東大阪市稲田
新町3-8-25
TEL／06-6745-8825
FAX／06-6745-8835
創業／昭和42年4月
設立／平成19年4月
資本金／2,500万円
従業員／30名

<http://www.ito-ss.jp/>